

埼玉県信保協

創業保証先の支援強化

1年半で564先訪問

埼玉県信用保証協会（砂川裕紀会長）は、創業者伴走支援パッケージ「ブリッジ（架け橋）」を通じた創業保証利用先への支援に力を入れる。支援パッケージの取り組みを始め

た2023年4月から1年半で564先を訪問し、ニーズに応じて支援。10月25日には、ホームページ（HP）に一部支援先を紹介するページを新設した。「ブリッジ」は「スタートアップ創出促進保証制度」を中心に、同協会の保証制度を初めて利用した創業間もない事業者が対象。主に創業後2、3年の事業者を、職員が訪問し

て現状把握や書面アンケートを実施。事業者の希望に応じ、金融機関や支援機関と連携し金融相談や経営支援などを通じてフォローアップする。フォローアップ先は23年度は1年間で23先だったが、24年度は上期（4～9月）で22先と前年度を上回るペース。

10月25日、HPの「お客さまの声」に、一部支援先を紹介する「がんばる企業応援ページ」を新設。埼玉県川越市内の蕎麦屋「蕎麦切り ちゃんまげ」の事業内容、セールスポイント、顧客からの声、写真、住所、営業時間、連絡先などを掲載した。担当営業店が中心となって掲載先の取材や記事の作成に取り組んでいる。